

第3の柱

ひとづくりへの挑戦 学都たつの輝きと 歴史・文化が薫るまち

その1 豊かな人間性を育み、創造力あふれる子どもを育てる

新宮こども園につきましては、小中一貫校の整備に伴う移転に向けた業務に着手し、教育・保育環境の整備を図ります。特別な支援を必要とする児童生徒の学びを支えるため、段階的に各小中学校の特別支援教室に電子黒板を整備します。中学校の部活動につきましては、学校部活動において部活動指導員により実施する「地域連携」とたつの市認定地域クラブで活動する「地域展開」を両輪とする取組を推進してまいります。



中学校部活動を地域連携と地域展開で推進

猛暑における熱中症対策として、中学校屋内運動場に引き続き、小学校屋内運動場の空調設備整備工事設計業務を実施します。また、現在中学校に設置しているウォーターサーバーを小学校にも設置し、持参した水筒に補水できる環境を整備し、学校活動中や下校時における効果

その2 活気ある水産業を推進する

水産業の振興につきましては、漁業の担い手の育成や、つくり育てる漁業として稚魚放流や海底への施肥を行うなど、漁場環境の保全を図るとともに、地元水産物のブランド化やPR活動を引き続き実施します。また、マガキのへい死に伴う貸付に係る償還利子補給及び補助金交付を行い、養殖業者の経営を支援します。

その3 地域資源を生かした観光を推進する

定住自立圏の構成市町と連携し、圏域内の観光資源を巡る周遊型イベントを実施するとともに、インフルエンサーを活用した情報発信を行い、広域的な観光誘客の促進に取り組みます。道の駅しんぐうにおきましては、会計システムを更新し、管理業務の効率化を図るとともに、道の駅みつにおきましては、引き続き地元団体等と連携し、地域の自然・産業・食文化を学ぶ海観光資源体験の場を提供します。



令和7年度に実施した周遊型観光イベント

世界の梅公園内の老朽化が進んでいる尋梅館、唐梅園につきましては、今後の活用方向性を検討するため、建物の耐力度調査を実施します。

的な熱中症対策を図ります。令和10年4月開校予定の(仮称)はりま新宮小中一貫校につきましては、建設工事を実施し、児童生徒の学びと育ちの環境を整備するとともに、保護者や学校、地域の方々や校章、校歌、制服等の協議・調整を進めます。安全・安心で快適な教育環境を確保するため、引き続き中学校武道場の改築工事を実施します。また、御津中学校につきましては、老朽化に対する今後の施設整備方針の策定に向けて用地整理事業を実施します。

その2 生涯を通して学び、スポーツに親しめるまちをつくる

公民館におきましては、地域の多様な団体と連携し、生涯にわたる自主的な学びや活動を積極的に支援するとともに、老朽化した備品を計画的に更新します。新宮温水プールにつきましては、小中一貫校の使用に向けた大規模改修工事の実設計を行い、御津地域の人工芝多目的グラウンドにつきましては、地域スポーツの活性化と振興を図り、利用者が相互交流を図れる施設として、第2期整備工事を実施



人工芝多目的グラウンドとして整備が進む御津北グラウンド

その4 にぎわいのある商業を推進する

産業の発展、雇用機会の創出・拡大を図るため、用地取得奨励金、建物機械設備奨励金を交付し、多様な企業の立地や設備投資を促進します。また、第二創業及び事業場の新設を創業支援事業補助金の交付対象に加え、更なる雇用の創出、移住・定住の促進、賑わいの創出を図ります。労働力不足の解消と地元で就職を希望する方の就労促進を目的に、兵庫労働局と連携し、移住・定住の支援情報の提供・相談を含む対面による就職面接会や、オンラインによる合同就職説明会の開催等による雇用支援に努めます。また、高校生を対象とする保護者同伴も可能な事業所説明会を開催し、市内企業の認知度を高め、若者の市内就業を後押しし、人材確保と若者の定住に繋がります。

その3 歴史と文化を生かした個性的で魅力あるまちをつくる

重要伝統的建造物群保存地区におきましては、災害時の被害抑制及び防災機能の向上を図るため、地区特有の課題に対応した防災計画を策定します。継続性・一貫性のある文化財の保存・活用につきましては、「たつの市文化財保存活用地域計画」の策定を進め、適切な保存・整備を行うとともに、幅広い活用を図ります。また、国指定重要文化財「賀茂神社」につきましては、本殿等の防災機器改修工事費用を助成し、文化財の保全に努めます。

赤とんぼ文化ホール及びアควアホールにおきましては、各世代のニーズに対応した芸術文化公演などを開催するとともに、安全で快適な環境のもと、芸術鑑賞などの機会を提供するため、老朽化した設備を更新します。

その4 互いの人権を尊重し、心豊かな社会をつくる

男女共同参画社会の実現と女性が活躍できる地域社会の形成を目指し、市民アンケート調査を基に「第3次たつの市男女共同参画プラン」を策定します。隣保館及び教育集会所におきましては、防犯カメラを設置し、施設及び利用者への安全確保を図ります。

第4の柱

にぎわいづくりへの挑戦 新たな地域産業の創出と 観光立市を目指す にぎわいのまち

その1 次世代へ伝え育む農業を活性化させる



令和7年度に実施した西播磨地域地場農産物等の商談会の様子

農業経営の安定化を図るため、地域計画に位置付けられた経営体に対して農地中間管理機構を活用した農地の集積・集約化を推進するとともに、経営改善に取り組む場合に必要となる農業用機械・施設の導入を支援します。また、認定農業者や新規就農者など多様な担い手の育成・確保に努め、必要な機械及び施設設備の導入を支援します。

地域に根ざした農作物の栽培振興を進めることにより、地域農産物のブランド力強化や地域農業の活性化を推進します。また、生産者と実需者とのマッチング会議を開催し、農業経営の安定化と地産地消の拡大を図ります。

その3 健全で効率的な自治体運営を推進する

既存の補助金の効果をより高めるため、「たつの市補助金等の適正化に関する方針」に基づき、必要に応じて見直し、補助金の適正化を図ります。新宮総合支所及び揖保川総合支所につきましては、施設の修繕等を実施し、庁舎環境及び来庁者の利便性の向上を図ります。また、隣保館及びコミュニティセンターにつきましては、利用者が快適に安心して過ごせるよう、屋上防水や施設設備の改修・充実、老朽化した機器の更新を行い、利用環境の改善を図ります。

高齢者等がスマホの使い方などを地域で気軽に聞くことができる場を創出するため、市が認定したご近所デジタルマイスターによるスマホ相談会や移動型スマホ教室等を開催し、デジタルデバイドの解消と地域交流の促進を図ります。広域行政を推進する定住自立圏につきましては、圏域の更なる発展に向け、「第3期定住自立圏共生ビジョン」に基づき、構成市町と相互に役割を補完しながら連携事業を推進します。

本庁及び各総合支所に「たつの市民憲章」の銘板を掲示し、市民のより強い一体感、本市への愛着と誇りの醸

第5の柱

ふるわびづくりへの挑戦 市民や地域と協働し、 地域力あふれるまち

その1 まちづくりを進めるための基盤を整える

市政の中長期的かつ総合的な指針となる「第3次たつの市総合計画」を策定

JR本竜野駅周辺に建設する「市中心市街地複合施設」につきましては、公民館機能や子どもたちがよく遊び、よく学べる全天候型スペース機能を有し、まちづくり、多世代交流及び駅周辺の活性化に資する施設整備に向け、必要な機能、規模等の方針を定める基本計画を策定します。



「中心市街地複合施設」の整備計画を策定

